

お盆だより

東澤山 菜流寺
 住職 武山清堂
 〒 421-2102 静岡市葵区油島 122
 電話は外しました。直接秘在寺
 へお電話下さい (054-294-0542)

◆お施餓鬼会

八月九日(土) 午前十時より

・塔婆供養も行います。申し込み書にご記入の上、組長さんを通じて早めにお申し込み下さい。町外の方は直接お申し込み下さい。

・会計報告をします。

・平成二十六年年度護持会費

講演

「健康は身近にあります」

大津哲治氏(療術師)



講演に先立ち、本山からいただいた成人米寿のお祝いの品を授与しますので、該当者はご出席下さい。

米寿	松永 様	望月 様
	豊泉 様	豊泉 様
成人	豊泉 様	
	* 様	* 様
	* 様	* 様
	* 様	* 様

◆お盆柵経

町外の七月盆

七月十二日(日)

町内(油島・俵沢)

八月十一日(火)

町外の八月盆

八月十二日(水)



毎年、同じ日ですの
 で、ご準備をお願いします

◆お盆草刈り奉仕

七月二十六日(日) 午前八時から
 俵沢六・七組にお願いします。

◆付け届け・護持会費納入お願い

各組長さんは七月末までに集金をお願いします。町外の方はお施餓鬼当日にお持ち下さるか、同封の振り込み用紙で納入して下さい。柵経の時に渡して下さってもけっこうですが、封筒に入れ、名前と付け届けであることを明記して下さい。

◆今年の年忌表

ご先祖の命日を確認し、ご供養しましょう。

一周忌	平成二十六年
三回忌	二十五年
七回忌	二十一年
十三回忌	十五年
十七回忌	十一年
二十三回忌	五年
二十七回忌	元年
三十三回忌	昭和五十八年
三十七回忌	五十四年
五十回忌	四十一年

◆奉仕作業をありがとうございました

三月二十一日、評議委員の皆様、境内参道に砂利を敷いていただきました。



◆お施餓鬼 講演について

お施餓鬼の法要のあとのお話は療術師の大津哲治氏による「健康は身近にあります」です。大津氏の療術は「足心道（そくしんどう）」といい、ホームページには以下のような説明がありました。

足心道は足にあらわれた変化によって身体の異常をチェックし、足を揉みほぐすことで自然治癒力をたかめ、全身の機能を活発にする足からの健康法です。



昭和初年、足心道の創始者 柴田和通は、東洋医学の考え方、ことに「十四経絡（じゅうしけいらく）」を踏まえながら、実際に多くの人々の足を観察。手足と内臓との関連を体系づけるとともに施術の方法を研究しました。そして、まったくオリジナルな手足の観察法「観趾法」と施術法「操法」からなる「足心道」を確立したのです。

それ以来六十年余、まさに足の健康法の草分けである足心道は、誰にでも手軽にできて安全な方法として、家庭や職場で実行され、健康増進に数多くの実績をあげてきました。

日常、私たちは意識して足に触れることなどほとんどありませんが、人間を立ち木にたとえるならば足はいわば根であり、家でいうなら土台とも言わなければならない部分です。「脚下照顧（きやくかしようこ）」足を顧み、足に感謝することによって健康への道が開けるのです。

◆第十一回 句碑祭り 三月八日

新しく建立された句碑と、前年度特選句の除幕のあと、吟行をしました。野田平峠茶畑↓相瀧吊り橋↓郷島神社↓秘在寺
昼食後句会を行い、互選の結果次の句が選出されました。

特選句 吊橋の揺れを促す桜冷え ふじ子

準特選 手を触れば楠千年のぬくみかな 義人
露座仏の慈悲の眼や風光る 秀夫
鳥ぐもり墨絵ぼかしの夕山河 義人

◆クマガイソウ

今年もクマガイソウが咲きました。池のほとりの草むらの中に一輪だけでしたけど。（四月十八日撮影）



クマガイソウは野生ランの一種で、名前前は唇弁と呼ばれる花の袋状になった部分を、熊谷直実（くまがいなおさね）が背中に背負った母衣（ほろ）に見立てて名付けられました。「母衣」とは大きな風船のようにふくらませた布で後ろからの弓矢を防ぐためのものだそうです。

もう一つ、似たような花にアツモリソウがあります。この二つの名は平家物語の平敦盛の最後の話になんていいます。「青葉の笛」という歌の一番に歌われています。



◆花まつり 安倍ごころ 四月四日

牛妻、福寿院様の協力をいただき、合同で花まつりをしました。灌仏（かんぶつ）のあと、住職のミニ法話、梅花流・花園流の御詠歌奉詠、そして参加者にはお菓子とお抹茶の接待をしました。子どもさんにはお釈迦様ぬりえを楽しんで貰いました。ゆったりと時を過ごしていかれた方もあり、なかなかよい雰囲気でした。これからの毎年年四月八日近辺の土曜に行いますので、是非いらして下さい。



灌仏とは仏像に香水をかけること、この場合は甘茶



花だけにして色別に分けます



まず各辺に「花まつり」の字を花で書き、周りを他の花で埋めていきます

◆ シフクノトキ

五月二十三日（土）恒例となった音楽イベント「シフクノトキ」の第四弾が開催されました。今回も天候に恵まれ、静岡県内外からなんと二百名を超える方々にご来場頂きました。

屋上のステージではもう恒例となったKGMさんを初め、千尋さん、そしてマッサンバシリーのお二人の三組の方々に演奏していただきました。また本堂前ではジャンベなどの打楽器の演奏や即興ダンスもありこちらも大いに盛り上がりました。境内では前回までよりもさらに多くの物店に出店していただき、美味しい食べ物や素敵な雑貨が並び来場者がより一層楽しむことができました。

この賤機地区を盛り上げたいと頑張ってくれているスタッフにはいつも頭が下がります。ミュージシャンの方々も話だけ子どもから大人まで広い世代の方々が参加できるイベントはなかなか無いので、今後このイベントを通して地域が元気になって、そしてもっとお寺に親しみを持ってもらえるようになればよいなと思っています。

近隣の皆様には音や車の往来等ご迷惑をおかけしますが、どうぞ今後ともご協力の程をよろしくお願い申し上げます。次回の詳細は未定ですが、また来年を予定しています。



ドローンによる空撮です



ジャンベ（西アフリカの太鼓）



◆静岡東教区御詠歌大会

六月九日
グランシップ

秘在寺支部五名・東禅寺支部十二名合同で「薬師如来御和讃」を奉詠しました。

◆比叡山参拝のご案内

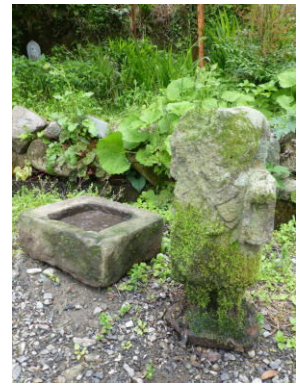
十一月十六日・十七日に比叡山へ行きまします。ご案内は彼岸日より一緒に配布します。是非ご参加下さい。こちらからバスで行き、案内の方をお願いして比叡山をじっくり拝観・見学します。宿泊は延暦寺会館で、食事は精進料理、琵琶湖を見下ろす夜景は最高です。

◆お不動様

旧本堂跡地東側に池がありますが、藤棚の下、池の向こう側にお不動様が祀られています。といつても古いもので、頭が取れており、寺族も気がつかない状態



態でした。縁あって、この度新しい不動像を祀っていただきました。お寺にいらした時に、お参りしていつて下さい。



以前のお不動様
首が取れていました

仏像にはいくつかの段階のグループがあつて、種類があつてそれぞれ役割があります。そしてそれが見た人にすぐわかるように、それぞれが決まった髪型や服装をしています。大ざっぱに分けると

- 一 如来 (釈迦如来 阿弥陀如来 薬師如来など)
- 二 菩薩 (観音菩薩 地藏菩薩 文殊菩薩など)
- 三 明王 (不動明王 愛染明王など)
- 四 天 (四天王 ↓ 広目天 増長天 多聞天 持国天・吉祥天 弁財天など)

不動明王はほとんどのものが目をむいた怒った顔をしています。そして右手に剣、左手に羂索(けんさく)、投げ縄のよう(武器)を持っています。このお不動様もその通りですね。

不動明王はアジアの仏教圏の中でも特に日本で人気があります。静岡さんと言われて親しまれています。静岡さんは丸い大鉢(おおだち)のお不動さんが毎月二十八日の市(いち)で有名です。また大阪、善寺の水掛不動も有名です。このお不動

動様はいつも水をかけられているので、すっきり苔に覆われてしまつてなんだかモンスターのようです。



大阪、法善寺の
水掛不動

◆雪斎長老

五月二十七日に放送されたNHK歴史秘話ヒストリアのタイトルは

「師匠、オレは戦国大名になる！
“やられ役” 今川義元の真実

でした。義元は今川家の五男、本来名門大名今川家の当主になれる立場ではありませんが、その義元を大名に押し上げたのが師、太原雪斎(たいげんせつさい)で、秘在寺の開山様でもあります。

義元は桶狭間の戦いで織田信長に敗れたため、大名としての評価は高くないのですが、京の都を模して駿府の街造りを進め、現在でも地名や町名等に京都と同じ名が残っています。また、荒廃した京の都を移した多数の公家や文化人が駿府に居を移し、「東国の京」或いは「東国の都」と呼ばれ、戦国三大文化の一つ、今川文化が栄えました。

また雪斎長老は人質となつた徳川家康の教育にも当たりました。そして今川領内にこの時代に建てられた臨濟宗寺院も多いのです。

